

原発不明縦隔リンパ節癌に関する多施設共同後方視的観察研究

1. 研究の対象

2008 年 1 月から 2023 年 12 月に、当院あるいは当該共同研究機関で、原発不明縦隔リンパ節癌に対して診断もしくは治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

原発不明癌とは、原発部位が特定できないまま発見される転移性腫瘍であり、10 大癌の 1 つとしても知られ、頻度としては低くありません。ただ、縦隔リンパ節に発生する原発不明縦隔リンパ節癌は全体の 1.5%と稀で、発見時に他の部位への転移を伴うことが多く、予後不良とされます。治療については原発不明縦隔リンパ節癌の 2-4 割は肺起源とされることから、肺癌に準じた治療が行われることが多いです。また、近年では遺伝子解析により詳細な原発巣の推定が可能となり、分子標的薬の使用も選択肢となりましたが、原発不明縦隔リンパ節癌に対する治療法は未だに確立されていません。一方で、根治手術がなされるケースは極めて限られ、その治療的意義は不明です。これまでの研究では切除症例については報告が少数で、大規模な治療成績の解析はなされておられません。本研究では、原発不明縦隔リンパ節癌の症例を集計し、予後、治療法、臨床病理学的背景を評価することを目的としています。

[目的] 原発不明縦隔リンパ節癌の疫学調査と治療成績を明らかにすること

[研究期間] 研究機関の長の許可日～2028 年 3 月 31 日

[方法]：原発不明縦隔リンパ節癌の 18 歳以上の患者さんを対象とします。予後、治療方法などを後方視的に比較、検討します。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

本研究で利用する情報は通常の診療でカルテに記載された臨床情報です。（既往歴、病歴、画像検査結果、手術様式、治療経過、等）。試料は利用しません。

4. 外部への試料・情報の提供

共同施設から大阪大学への情報提供は web 上でデータベースを管理する Research Electronic Data Capture (REDCap) で行います。このシステムは権限を持つ人しか閲覧できないので情報漏洩はありません。

5. 研究組織

共同研究機関及び研究責任者

大阪大学呼吸器外科診療連携施設研究会：

Thoracic Surgery Study Group of Osaka University (TSSGO)

1. 大阪大学医学部附属病院（新谷 康）
2. 吹田市民病院（横内秀起）
3. 大阪けいさつ病院（坂巻 靖）
4. 大阪はびきの医療センター（門田嘉久）
5. 大阪国際がんセンター（岡見次郎）
6. 大阪急性期・総合医療センター（船越康信）

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究代表者：

大阪大学大学院 医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学 教授
新谷 康

事務局：

大阪大学大学院 医学系研究科 外科学講座 呼吸器外科学 講師
大瀬尚子

〒565-0871

大阪府吹田市山田丘 2-2

電話：06-6879-3152 Fax：06-6879-3164

データセンター

大阪急性期・総合医療センター 呼吸器外科 高田直哉